

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ発達支援センター 児童発達		
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「ウィズに行きたい!」と思い、登園して下さるお子さんが多いこと。	・一人ひとりに着目し、療育・支援を行っています。 ・「できた!」に着目することで、肯定的に伝える支援をしています。	・お子さん一人ひとりを知り、お子さんに合った支援を今後目指します。 ・スタッフ自身のスキルアップをしています。
2	・情報ツール、参観・面談等でお子さんの様子や活動内容等を発信し情報を共有、保護者の皆様と成長を喜び合うことが出来ること。	・少人数での療育（朝の会）、活動の様子を情報ツールでご家庭にお知らせしています。また、朝の会の参観・面談・モニタリングを定期的に実施、併せておうちの方との「おしゃべり」を大切にすることを意識しています。	・情報ツール、参観・面談はもちろん、保護者の方との関わりを大切にしながら、今後もお子さんの成長を共に見守っていきたくと思っています。
3	・地域の保育園・幼稚園、他事業所との交流を開始した。	・保育園・幼稚園を併用しているお子さんが大半を占めておりニーズが少なかった保育園・幼稚園との交流ですが、今年度より同地域の保育園との交流を始めました。	・地域園・他事業所との交流はもちろん、職員が仲介しながら集団での学びや経験をする有意義な時間と考えられるため、来年度以降も継続します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・基準は満たしていますが、スペースが充分とは言えない場所での活動。 ・事業所が建物の2階にあるため、利用を希望するお子さんが限られてしまうこと。	・建物の構造上、活動スペースを広くすることは難しく、2階スペースを使っの療育・支援は現状維持となりますが、隣地に「みらいサポートセンター」が開所することで、新たな場所を使用しての活動も検討します。	・活動の内容により室内の環境を整えたり、戸外または他施設をお借りしての活動に加え、地域での社会体験活動を取り入れるなどの工夫を今後も検討します。 ・「みらいサポートセンター」を活用し、社会体験の場を増やします。
2	・保護者同士の交流の場が少ない。	・年1回、保護者会を行っていますが、参加していただいている方に偏りが見られたり、参加が難しいご家庭は集うことが難しい状況です。	・お仕事をされている方、また、お父様の参加も視野に入れ、開催回数、日時・場所等の検討をしていきます。 ・先輩お父さん・お母さんのお話をお聴きする機会を設けたり、講師を招いての勉強会を併せて行うことも視野に入れていきます。
3			